

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/09/11号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

上昇相場が続く、サウジとロシアが供給調整を延長

NY原油先物相場は、1バレル=86~88ドル水準まで値上がりする展開になった。前週に続いて国際原油需給のひっ迫見通しを織り込む動きが優勢であり、昨年11月15日以来の高値を更新している。9月6日までは9営業日続伸となり、高値は88.08ドルに達している。ブレント原油は90ドルの節目も上抜いている。ドル高や中国経済の減速懸念が上値を圧迫したが、それ以上に国際原油需給ひっ迫化に対する警戒感が強かった。

サウジアラビアとロシアは9月5日、自主的に実施している供給削減策の期限を9月末から年末まで3か月延長すると発表した。サウジアラビアは日量100万バレルの減産、ロシアは30万バレルの輸出削減を続けることになる。毎月、市場環境に応じて供給削減幅の調整を行う方針も示されているが、いずれにしても原油需給管理に強い意欲を示したことはポジティブ。既に世界的に原油在庫の取り崩しが始まっているが、7~9月期のみならず10~12月期の需給がひっ迫化するとの見方が強化されている。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (9月1日時点) は、原油が前週比631万バレル減、ガソリンが267万バレル減、石油精製品が68万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫の上昇地合が続く、ブレントに続く90ドルにトライ

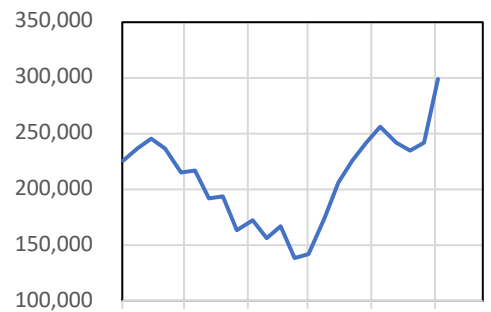
国際原油需給のひっ迫見通しが強化される中、押し目買い優勢の展開が維持されよう。短期的な過熱感も強いが、サウジアラビアとロシアの供給調整が続く影響で、年末に向けて更に在庫減少が進むとの見方が強化されている。このまま在庫減少傾向が維持されると、ブレント原油に続いてWTI原油も90ドル台乗せを試す可能性がある。

現在の原油価格水準でサウジアラビアとロシアが供給削減策の延長を決めたことに対しては、消費国から批判の声も強い。従来だと、米国などから産油国に対して増産の要請が行われる局面だが、今回はそうした動きは想定しづらい。特に米国とサウジアラビアの関係性が著しく悪化する中、米国の要請や圧力でサウジアラビアの供給調整が止まる可能性は低い。世界がどこまでの原油高を受け入れるのか、経済・政治・社会の対応力の限界が試される局面になろう。

9月12日に石油主出国機構（OPEC）、13日に国際エネルギー機関（IEA）が最新の月報を公表する。ここで改めて国際原油需給のひっ迫見通しが示されると、期近限月主導の上昇地合が続く可能性が高まる。また、米原油在庫は今年最低水準の更新が続いているが、9月13日の統計で更に在庫の取り崩しが確認された際にも、買い安心感が強まろう。

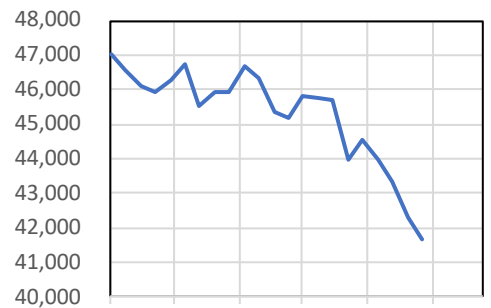
一方、中国経済の減速懸念が非鉄金属相場などの上値を改めて圧迫する動きが観測されている。9月15日に中国の8月経済指標の発表が集中するため、ここで中国経済リスクを更に高めるような動きがみられると、原油市場でも短期筋の利食い売りが膨らむ可能性がある。また、9月13日には8月米消費者物価指数が発表される。米金利・ドル・株価が大きく動くと、原油相場も影響を受ける可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



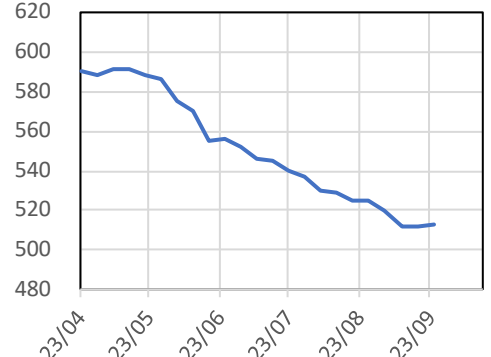
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

